

競技注意事項

本大会は、2023年（一財）日本陸上競技連盟競技規則と本大会要項ならびに申し合わせ事項により実施する。

1. 招集について

- (1) 競技者は、出場種目の招集開始時刻がきたら招集所で待機し、招集完了時刻までに選手控え場所で競技者係からの点呼をうける。その際、アスリートビブスの確認と、必要に応じシューズの確認を受ける。四種競技も、すべての種目で招集所において競技者係から同様の点呼を受ける。
- (2) **招集所（競技者係）の位置は、本競技場第4コーナー（100mスタート側）の外側に設ける。**
- (3) 招集はすべて競技者係の指示に従う。招集開始時刻・完了時刻は次の通りとする。

		予選	決勝
トラック競技	招集開始—完了時刻	25分前～15分前	20分前～15分前
フィールド競技（幅・高・砲）	招集開始—完了時刻	40分前～30分前	40分前～30分前
（棒高跳）	招集開始—完了時刻		70分前～60分前

※1 四種競技も同様にトラック種目は25分前～15分前、フィールド種目は40分前～30分前とする。

※2 1500m、3000m、4×100mR 決勝に関しては25分前～15分前とする。

- (4) 招集に遅れた者の出場は認めない。
- (5) 招集完了後、勝手に招集場所を離れてはならない。移動は、競技者係の指示に従う。
- (6) 選手招集エリア内は、点呼を受ける選手以外の出入りを禁止する。
- (7) 2つの競技に出場する競技者のうち、招集時間や競技時間が重なる場合は、多項目同時出場届け（用紙は受付時配布済み）を提出し、招集の際に競技者係の指示に従って行動する。
- (8) リレーのオーダー用紙は、各ラウンドの第1組目の招集完了時刻1時間前までに競技者係に提出する。次のラウンドに進出したチームは、オーダー用紙を競技者係（招集所）に受け取りに来ること。
- (9) アスリートビブスは、ユニフォームの胸、背に交付された大きさのまま縫いつけるか安全ピンで確実に止めること。（跳躍競技に出場する競技者は胸部または背部のいずれか一方でよい）
- (10) トラック競技の出場者は招集の際、競技者係よりシール式の腰ナンバーカードを受け取り、ランニングパンツの右腰やや後方に取り付ける。シールを剥がしたゴミは、指定された（招集所）ゴミ袋に捨てること。

2. レーン・試技順

- (1) プログラムの記載の上から下への番号順とする。ただし、四種競技は、種目ごとに試技順が違うのでプログラムで確認すること。また四種競技の最終種目における組み合わせは、それまでの得点をもとに編成する。
- (2) トラック競技の決勝のレーン順及びフィールド競技の決勝の試技順は番組編成員で公平に抽選し、大型スクリーン、第1ゲート外側記録速報掲示板、アスリートランキングに掲示する。
- (3) 抽選が必要な場合は、当該監督および競技者にアナウンスで連絡し、大会本部において当該競技者あるいは代理人による抽選を行う。なお、アナウンス後5分を経過しても当該競技者あるいは代理人が来なかった場合は、主催者が代行する。
- (4) 決勝タイムレースは、1組目が予選のタイム下位8名、2組目が予選のタイム上位8名とする。**競技結果については、1組と2組で総合順位を決定し発表する。同タイムの時は、1/1000秒で判断する。それでも同じ場合は同順位とする。**

3. トラック競技

- (1) トラック競技において次のラウンド進出者を決めるにあたり、【競技規則 TR21.1～5】を適用する。
- (2) 写真判定のため、腰ナンバーカードを使用するがリレーの場合は第4走者のみとする。
- (3) 男女1500m、男女3000mはタイムレースで行う。番組編成は申込時の持ちタイムにより行う。
- (4) 男女3000mは、出場者数に応じてグループスタートとすることもある。
- (5) 【競技規則 TR16.5】は本大会では適用せず、注意を与えるものとする。
- (6) 短距離走では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分のレーンに沿って走り、前後左右の安全を確認してからレーンを出ること。
- (7) リレー競技のマーカーの使用は1カ所とする。マーカーは出発係が配布する。使用したマーカーは、そのチームで処理すること。
- (8) **個人種目のゴール後はメインスタンド裏を通り、第1ゲートからスタート地点に戻る。1500mのみ最短距離でスタート地点に戻る。**
リレー種目においては、同組の全チームがゴール後、1走から3走は最短距離で、4走はメインスタンド裏を通してスタート地点に戻る。
スタート地点で荷物を回収し、最も近い階段からスタンド（待機場所）に上がる。

4. フィールド競技

(1) 走高跳・棒高跳

① 走高跳はバーの上げ方は次の通りとする。

男子 決勝 練習 1m45 1m60 試技開始 1m50～1m60 まで 5cm 以降 3cm 上がりとする。

女子 決勝 練習 1m30 1m45 試技開始 1m35～1m45 まで 5cm 以降 3cm 上がりとする。

② 棒高跳はバーの上げ方は次の通りとする。(最後の一人になるまでは、下記の通り)

	2m20	
練習	2m70	試技開始 2m30→2m50→2m70→2m90 以降 10cm 上がりとする。
	3m20	
	3m70	

③ 棒高跳の競技者は、自分の希望する支柱の位置を練習時に担当審判員に申し出ること。

④ 第1位が2名以上の場合、順位決定のバーの上げ下げは、走高跳は2cm・棒高跳は5cm単位とする。

⑤ バーの上げ方について天候その他の特殊条件によって変更する場合は当該審判長が決定する。

(2) 走幅跳

① 走幅跳については予選を行う。予選通過標準記録は下記の通り。

男子 5m70 女子 4m80

② 天候その他の特殊条件によって予選通過標準記録を変更する場合は当該審判長が決定する。

(3) 混成競技

① 四種競技の走高跳のバーの上げ方は次の通りとする。

男子 練習 1m20 1m40 試技開始 1m25～1m50 まで 5cm 以降 3cm 上がりとする。

女子 練習 1m05 1m25 試技開始 1m10～1m30 まで 5cm 以降 3cm 上がりとする。

② バーの上げ方について天候その他の特殊条件によって変更する場合は当該審判長が決定する。

(4) 助力

① 助力については、競技場内及び観客席からの助力は禁止とするが、コーチングエリアでの助言については競技運営や他の競技者の競技の妨げにならない範囲で認める。

② 競技役員を兼ねている場合は、コーチングエリア下のダグアウトで行うこと。

③ コーチングエリアに入ることができるのは、各チームの監督、コーチ、引率者のみとする。

④ コーチングエリア内に入る際は、「監督・引率者 ID」あるいは「競技役員 ID」を見える位置に付けること。

⑤ 当該競技中、エリア内に留まることはできるが、最前列は空けておくこと。

⑥ コーチングエリア内の最前列は、選手に直接コーチングを行うときのみ利用すること。

⑦ 選手に対してビデオ等の映像を見せて助言することはできるが、如何なるものも手渡すことはできない。

5. 競技について

(1) 競技者・監督といえども、その競技に出場する者以外は競技場内に入ることにはできない。

(2) 発表された結果に対する抗議は、【競技規則 TR8】によって定められた時間内(同一日の次のラウンドが行われる場合には、アナウンス後 15 分、それ以外は 30 分)に各地区専門委員長(またはその代理の者)が総務員を通じて審判長に対して口頭で行う。

6. 競技用具について

(1) 競技に使用する用器具は、棒高跳のポール以外、全て主催者側が準備したものを使用しなければならない。

(2) 棒高跳びのポールは、10:15～10:45の間に第4ゲート外側ポール預り場所まで提出すること。また、競技終了後にポールを競技場に預ける場合は、棒高跳の跳躍審判まで申し出ること。

7. 競技用靴について

(1) スパイクのピンは全天候用を使用し、長さは9mm以下とする。ただし、走高跳は12mm以下とし、ピンの数は11本以内とする。

(2) 靴底の最大の厚さについては、800m未満のトラック競技は20mm、800m以上のトラック競技は25mm、フィールド競技は20mmまでとする。

8. テントの設営場所について

(1) テントを張る場合は次に従い、各自責任を持って取り扱うこと。

(2) 大会当日は開門時の7時00分から設営可能とする。

(3) 大会中、テントはその日ごと撤去とするが、競技終了後に収納したテントをダグアウト下にて保管することができる(自己責任)。

(4) 風で飛ばされないように紐やアンカーでしっかりと固定すること。その際、紐で通路を塞がないこと。

(5) 強風などにより撤去をお願いすることもあるので、アナウンスの指示に従うこと。

(6) メインスタンドへの設置は禁止する。

(7) 各チームに場所の割当をしているのでその範囲内に設営すること。

- (8) 各地区内で待機場所の交換、場所やテントの合同利用などに制限はない。
- (9) 補助競技場外周の斜面部芝生（会場全体図を確認）にテントを張ってもよいが、毎日必ず片付けること。（ピンを残さず、場所取りも行わない）

9. その他

- (1) 8位までの入賞者に賞状を授与する。
- (2) 本大会の記録から男女各1名の優秀選手を選出し表彰する。
- (3) 8位までに入賞した選手は、表彰待機場所で待機し賞状を受けとる。
- (4) スタート前に脱いだ衣類の運搬は行わない。トラック競技はスタート地点、フィールド競技は各競技場所において、自分の荷物をあらかじめ用意されたビニール袋に入れて管理すること。なお、ビニール袋には所属、ABナンバー、氏名を記入し、荷物の取り違えに十分注意すること。
- (5) 自分のゴミは持ち帰ること。（ペットボトルや缶も必ず持ち帰る事。ゴミ箱は使用できない。）補助競技場も同様とする。
- (6) 正面スタンド前（本部席前）は通行禁止とする。
- (7) 競技進行上、競技開始時刻に多少の変更もあり得るので、アナウンスを聞き漏らさないように注意すること。補助競技場は、アナウンスが聞こえない場合があるので特に注意すること。
- (8) 競技者としての自覚を持ち、見苦しい服装や態度をとらないこと。なお、競技者の服装は、大会規則に定める範囲とする。
- (9) 欠場届（受付時配布済み）は、競技開始90分前までに競技者係（招集所）へ提出すること。
- (10) リレー競技については、同一色のユニフォームを着用すること。
- (11) 選手はミュージックプレイヤー・携帯電話・その他類似の機器を競技場内に持ち込むことはできない。
- (12) 横断幕・のぼりなどは、メインスタンドに掲示することはできない。
- (13) 競技中の事故については、主催者で応急処置をするが、以後の責任は負わない。
- (14) 盗難防止のため、貴重品は各自で保管する。また、スタンドでの盗難・置き引きは十分注意すること。紛失等に関して、主催者は一切の責任を負わない。
- (15) 補助競技場については、別添の公開練習要領を十分に確認すること。